

# THE ROOF



田口安男  
《白いトルソー呼ー》 2007(平成19)年  
テンペラ・パネル 当館蔵

## Contents

- 企画展「「無言館」展 遺された絵画からのメッセージ」  
－「無言館」展と「グループ〈貌〉とその時代展」－
- 企画展「郡山の美術とであう」－遺された画家の筆跡、素材と質感の魅力－
- 寄稿「美術作品の収蔵 ー郡山市立美術館の収蔵方針とコレクション形成」
- 常設展示室紹介
- 福島と浮世絵：描かれた「鬼婆伝説」（企画展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」報告）
- Report
- Information

# 「無言館」展と「グループ〈貌〉」とその時代展

「無言館」展出品の戦没画学生たちの中には、当館が2000（平成12）年に開催した「グループ〈貌〉とその時代展」（以下、貌展）の出品作家たちが何人か含まれている。〈貌〉とは、東京美術学校油画科を1938（昭和13）年に卒業した画家たち十二人が、在学中に結成したシュルレアリスム系の団体である。

その中には三春町出身で戦後郡山市において活動した鎌田正蔵、いわき市出身の若松光一郎がいた。貌展では、その周辺作家である椎野修の作品を無言館から借用した。状態が悪かったため、ガラスケースに入れての展示だったが、「無言館寄託」（当時）と作品解説にあるだけでその作品のまわりに人だかりができたのを思い出す。

〈貌〉のメンバーたちは卒業後相次いで出征し、石原壽市は戦死し、加藤太郎と杉原正己は除隊後間もなく没した。その三人は新進気鋭の木版画家として恩地孝四郎らから将来を囑望されていたが、作品も資料も紛失・焼失してほとんど残っていないかった。その後無言館が編集・発行した『戦没画学生人名録』に、貌展での資料をもとに三人の経歴が掲載された時は、苦労が報われた気がした。貌展開催時点では詳細がわから

なかった石原壽市については、無言館の調査によって遺族が判明し、正確な生年と、終戦の年にビルマ（現ミャンマー）で没したと明らかになったことは特にうれしかった。貌展では彼の肉筆画は東京藝術大学が所蔵する油彩の自画像だけだったが、今展では油彩デッサンが出品されている（図1）。

貌展に出品された作家の中には、帝国美術学校出身の矢崎博信（図2）と渡辺武もいる。矢崎は〈アニメマ〉や〈動向〉を、その後輩になる渡辺武は〈ジュンヌ・オム〉を結成した、戦前のシュルレアリスム運動を代表する画家たちだ。また、貌展での出品がかなわなかった猪飼俊一（図3）は、東京美術学校日本画科在学中に二度官展に入選しており、やはり〈貌〉周辺の〈磁座〉や〈成層絵画研究集団〉のメンバーでもあった。



（図1）  
石原壽市《女の顔》  
油彩・紙 無言館蔵



（図2）  
矢崎博信《雷》  
油彩・キャンバス 無言館蔵



（図3）  
猪飼俊一《葉牡丹》  
絹本着色 無言館蔵

彼ら無言館の作家たちは、戦地から帰ってきて描き続けたいと思っていたに違いない。そして、描いている時だけは兵隊にいくことを忘れ、描く楽しさ、生きる喜びを感じていたはずだ。展示されている作品は、そんな若い彼らの奮い立つような魂の発露である。そして私たちは、戦争によって失われてしまった、そして埋もれてしまった才能の多さに愕然とする。

（当館館長 菅野洋人）



## 企画展

### 「無言館」展 遺された絵画からのメッセージ

2021年6月19日（土）～8月29日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（8月9日〔月・休〕は開館、翌日休館）

観覧料：一般／500（400）円

高校・大学生、65歳以上／300（240）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館、朝日新聞社、福島放送

企画協力：無言館

## 遺された画家の筆跡、素材と質感の魅力

本展は、郡山市立美術館の所蔵品や市内に遺されている美術品、現在郡山を中心に活動する作家など、さまざまなかたちで郷土にゆかりのある美術に焦点をあてる展覧会です。

江戸時代より、多くの物資や人々の交通の要衝として栄えた郡山。かつての郡山宿の旧家に生まれた横田治右衛門（1880—1958）は、美術に造詣が深く、画家たちと交流しながら多くの美術品を収集しました。また、美術雑誌『美術春秋』の発行にも力を注ぐなど、広く地域の文化発展に貢献した人物でもあります。

横田のコレクションを特徴づける画家のひとりとして挙げられるのが、春日光親（鉄山）です。出身は名古屋ですが、長野、栃木、福島など、生涯各地を遊歴したといわれ、県内では郡山にも滞在して多くの作品を遺していま



安藤重春 《雨の華》  
1979（昭和54）年 岩絵具・紙  
当館蔵



深沢軍治 《庭先植物生態学 (B)》  
1984（昭和59）年 油彩・キャンバス  
当館蔵



佐藤敬 《石の対話》  
1958（昭和33）年 油彩・キャンバス  
当館蔵



高木背水 《紅海の夕焼》  
油彩・キャンバス  
当館蔵

す。自分の経歴を他人にあまり話すこともなく浪々としていたという光親は、その土地に遺された作品やごくわずかな証言などから足跡が推測されているのみで、これまで画家として紹介される機会もほとんどありませんでした。鮮やかな色彩によるやまと絵風の表現、墨の濃淡と筆さばきを活かした作品、またそのどちらも兼ね備えたような独特な画風など、多彩で豊かな表現力が光親の真骨頂といえるでしょう。本展前半では光親をはじめ、横田がであり、愛蔵した美術品の一部をご紹介します。

品とあわせて展示します。作品は表現されている内容だけでなく、その素材や技法によって大きく印象が変わります。作家は試行錯誤を繰り返しながら制作し、自らの目指す表現に近づけていくのです。私たちが作品に臨んで材質や筆致に注目してみることは、作者の意図や手の動きを知るヒントにもなり、作品の本質に迫ることもつながっていくのではないのでしょうか。さまざまな技法と素材がかたちづくる質感の魅力を、ぜひ実際に作品を見て発見してください。（新田量子）

### 企画展

## 郡山の美術とであう

2021年9月10日（金）～10月10日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（9月20日〔月・祝〕は開館、翌日休館）

観覧料：一般／300（240）円

高校・大学生、65歳以上／200（160）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館

関連イベントにつきましては、8ページをご覧ください。



春日光親（鉄山）《春秋》  
紙本着色／双幅 個人蔵



# 寄稿

## 「美術作品の収蔵」

### —郡山市立美術館の収蔵方針とコレクション形成—

鈴木誠一（当館前館長）



サー・ジョシュア・レイノルズ  
《エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像》  
1777年 油彩・キャンバス 当館蔵

郡山市は美術館開館前の1983（昭和58）年、「美術館基本構想」のなかで「国際的なレベルの作品」及び「郡山市にゆかりのある作品」という広義な収蔵方針を決めました。後者は日本の公立美術館の一般的な方針と言えます。郡山市立美術館では、日本画の荻生天泉、洋画の土橋醇、彫刻の三木宗策、ガラス工芸の佐藤潤四郎などが該当しますね。室町時代の画僧・雪村も加えることが出来ます。

課題は「国際的なレベルの作品」でした。そのままではあまりにも抽象的な方針を具体化したのが、1987（昭和62）年に当時の美術館建設準備室に着任した故・村田哲朗先生です。村田先生は他の美術館の収蔵内容、日本近代美術史上の盲点的な分野、そして購入予算などを総合的に考慮し、具体的な方針を打ち立てました。その最たるものが「イギリス美術」です。それまでの国内の美術館所蔵の外国作品は、印象派などフランスを中心に活躍した画家や傾向の作品が主流でした。郡山市が後追いしても、他館の亜流になっ



荻生天泉《行成御》 1932（昭和7）年 岩絵具・紙／二曲一双屏風 当館蔵



さらに村田先生は、方針決定の学術的根拠として日本近代美術におけるイギリス美術の影響をあげました。幕末には高橋由一らに油彩画の指導をしたワグマン、明治期には水彩画の魅力を与えたイーストといったイギリス人の画家たちが来日、また、レイノルズの講演録の和訳本や風景画の巨匠ターナーらの影響を受け多くの日本人画家たちはイギリスへと留学していったのです。この事実は多くの国内美術館が忘れていた日本美術史のエアポケットでした。こうして、外国美術はイギリス、日本近代美術でもイギリス留学組や水彩画などを収蔵の特徴としていったのです。

ほかに郡山市立美術館には特徴的な収蔵作品群があります。ここでは字数が足りませんので、機会があればまた紹介したいと思います。



佐藤潤四郎デザイン  
カガミクリスタル（株）製作  
《手吹きウイスキーボトル  
「スーパーニッカ」初号モデル》  
1962（昭和37）年頃  
ガラス／宙吹き 当館蔵



三木宗策  
《威容抱慈（坂上村麻呂像）》  
1924（大正13）年  
木彫 当館蔵



土橋醇  
《星の幻想B》  
1975（昭和50）年  
油彩、鉄板・板 当館蔵  
（令和2年度収蔵作品）



平成5年頃  
後列中央の村田館長を囲む学芸スタッフ

いかにとまわりは気を採んだものです。郡山では美術のみならず、キノコ、合唱、映画、酒、肴、本と多方面に深い知識と情熱を傾け、多くの市民から愛され、平成28年からは当館友の会の会長でもいらつしやいました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

同人誌『一寸』では一度も原稿を書かないままだったほど、筆の遅いことが玉に瑕。美術に限っても、シユールや版画、メキシコや中国と興味は幅広く、話の魅力をそのまま原稿にできないかととまわりは気を採んだものです。郡山では美術のみならず、キノコ、合唱、映画、酒、肴、本と多方面に深い知識と情熱を傾け、多くの市民から愛され、平成28年からは当館友の会の会長でもいらつしやいました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 追悼

### 村田哲朗氏

当館初代館長

当館初代館長・村田哲朗氏が2020年12月逝去されました。

1935年栃木県生まれ。東京藝術大学芸術学科を卒業後、日本民芸館や河出書房での勤務を経て、母校芸大の百年史編纂事業に携わっていた昭和62年夏、郡山市美術館建設準備室へ。以来、30年以上郡山在住。当館の館長を平成4年の開館から9年まで、12年まで顧問をつとめ、郡山女子大学教授、町田市立国際版画美術館館長を歴任されました。浅井忠の研究者として、明治美術学会創立当初から中心メンバーとして活躍。

# 常設展示室紹介

2021年7月21日(水)～10月3日(日)

郡山市立美術館では、4つに分かれている常設展示室のそれぞれにテーマを設定し、約2,300点の収蔵作品のなかから選りすぐって作品を紹介しています。いつ来ても同じ作品が展示してあると思われがちな美術館の常設展ですが、展示替えごとに大幅な作品の入れ替えを行っています。また、同じ作品でも並び方が違ったり、時にはいつもと違う展示室に展示されていたりと美術館をより楽しんでいただくため、さまざまな工夫がなされています。

展示室1



小特集：イギリスの彫刻家たち

いつもは1階に展示されている  
ゴームリーの彫刻が展示室1に！



展示室2



洋画上洛！一京都洋画と浅井忠

浅井忠を中心に  
関西美術院ゆかりの  
画家たちを紹介

展示室3



日本の前衛・画家の試み

海外で誕生した  
新しい芸術を取り入れた  
画家たちの試みを紹介

展示室4-1



版画と福島

福島ゆかりの版画を  
集めています

展示室4-2



佐藤潤四郎のガラス

佐藤潤四郎デザインの  
《スーパーニッカ》  
東京五輪 1964 モデルを展示中！

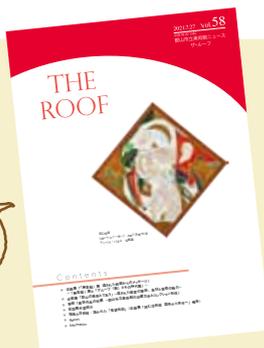
## 次回常設展示のご案内

10月6日(水)～12月26日(日)

- 1 イギリス美術のイギリス性
- 2 美の明治：工部美術学校と東京美術学校
- 3 大集合！形が楽しい絵画たち
- 4 版画で旅する日本／暮らしのなかの工芸

10月5日(火)は展示替えのため、  
常設展示室はご覧いただけません。

表紙の  
作品



田口安男 2007(平成19)年 テンペラ・パネル 130.0×130.0cm 当館蔵  
《白いトルソー呼ー》 (令和2年度収蔵作品)

田口安男の代表的な技法「黄金背景テンペラ」によって描かれています。石膏下地の上に金箔を置き、メノウ棒で磨いた上に卵黄テンペラで彩色しています。トルソーが配された中央部分の白、輝く黄金の背景とテンペラによる平面的な色彩の対比が美しい作品です。

本作は、企画展「郡山の美術とであう」に出品予定です。

# 福島と浮世絵…描かれた「鬼婆伝説」

昨今、「鬼」にまつわる漫画やアニメが空前の大ブームを巻き起こしていますが、国芳の弟子・芳年が「鬼」にまつわる浮世絵を残しています。「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」に出品された《奥州安達がはらひとつ家の図》は、福島県二本松市安達ヶ原に伝わる「鬼婆伝説」を描いています。

その伝説とは、

むかし、京の都で病気の姫に仕える年老いた乳母がいました。姫は成長しても口を聞くことができず、男者（占い師）によると妊婦の胎児の生きさを飲ませれば治るとのこと、その言葉を信じた老婆は胎児の生きさを求めて京から奥州までやってきました。阿武隈川のはたり、安達ヶ原の岩屋に棲みついた老婆は妊婦が通りかかる



月岡芳年《奥州安達がはらひとつ家の図》  
明治18（1885）年 名古屋市博物館蔵



歌川国芳《安達原一ツ家之図》  
安政3（1856）年  
名古屋市博物館蔵（尾崎久弥コレクション）

のをじっと待っていました。ある夜、若い夫婦が一夜の宿を求めて老婆の棲む岩屋を訪ねてきます。夫婦の妻は身重で、ちょうどその夜に妻が産気づき、夫は薬を買いに出かけてしまっています。この絶好の機会に老婆は、研いであった出刃包丁で腹を裂き、胎児の生きさを抜き取りました。しかしこの妊婦が身につけていたお守りを見ると、老婆が京を発つ際に娘に残していったものでした。自ら我が子を手にかけてしまおうという衝動的な事実、老婆は精神に異常をきたし、その後は旅人を襲っては生き血や生き身をすすり人肉を喰らう鬼婆になってしまいました。

大筋は前述の通りですが、この伝説には後日譚も含め諸説があり、後には能の「黒塚」や歌舞伎の「奥州安達原」といった作品へと発展していきました。半裸の妊婦が逆さ吊りにされているという残酷な描写ではありますが、本作では『英名二十八衆句』シリーズのような「血みどろ」で直接的な表現を避けています。芳年は血や涙を描かず、後に訪れる惨劇と悲劇の予感を観る者に与え続けています。

ちなみに、師匠の国芳にも《安達原一ツ家之図》（本展出品作品）という作品がありますが、こちらは「鬼婆伝説」そのものではなく、当時見世物として上演されていた生人形を描いています。（塚本敬介）

## 企画展

報告

「挑む浮世絵  
国芳から芳年へ」

2021年4月24日（土）  
～6月6日（日）

「奇想」の浮世絵師として近年人気を集める歌川国芳。生粋の江戸っ子であった国芳のもとには「最後」の浮世絵師と称され、血みどろで残酷な場面を多く描いたことで知られる月岡芳年をはじめとする多くの弟子たちが集いました。

「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」では、国芳の作品を中心に弟子たちにもスポットを当て、約150点の名古屋市博物館所蔵作品から、脈々と受け継がれる「芳」の遺伝子を紹介しました。



歌川国芳《相馬の古内裏》  
弘化2～3（1845-46）年頃  
名古屋市博物館蔵（高木繁コレクション）



歌川国芳《浮世よしづ久志》（部分）  
弘化3～嘉永元年（1846-48）年頃  
名古屋市博物館蔵（高木繁コレクション）

# Report

## 第12回 風土記の空

～郡山市内の中学校美術部による作品展～

2020年10月20日(火)～11月23日(月・祝)

主催：郡山市立美術館 場所：美術館ロビー

郡山市内の中学校美術部の活動の中で制作された作品を展示しました。個性豊かな作品が並びました。



参加校

日和田中学校、行健中学校、守山中学校、郡山第五中学校、小原田中学校

## ミュージアム・コンサート

「圓谷俊貴 チェンバロ・コンサート バッハ/コルドベルク変奏曲より」

2020年11月23日(月・祝)

場所：階段ロビー

出演

圓谷俊貴さん(チェンバロ)、秋本悠希さん(メゾソプラノ)

チェンバロとメゾソプラノの美しいハーモニーが美術館に響き渡りました。



## 企画展「みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ 一線の魔術」関連

会期：2020年12月12日(土)～2021年3月7日(日)

### ミュージアム・コンサート

「山中千尋 ピアノトリオコンサート みんなのミュシャとジャズ」

2020年11月28日(土)

場所：けんしん郡山文化センター 中ホール

出演

山中千尋さん(ピアノ)、山本裕之さん(ベース)、桃井裕範さん(ドラム)

ジャズピアニストの山中千尋さんにミュシャをテーマとしたスペシャルステージを披露していただきました。



### オンライン・アートライブ

「天野喜孝 オンライン・アートライブ」

2021年2月6日(土)

LINE LIVE-VIEWINGによる生配信

出演

天野喜孝さん(画家、イラストレーター)、[進行]関あつしさん(母心)

ミュシャから影響を受け、本展にも作品が出品された天野喜孝さんによるミニトークショーとライブペイントが開催されました。



ライブペイントで制作した《闇から光へ》

## 企画展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」関連

会期：2021年4月24日(土)～年6月6日(日)

### 講演会

「国芳と芳年の「怪」と「快」」

2021年5月3日(月・祝)

場所：多目的スタジオ

講師

神谷浩さん(徳川美術館副館長兼学芸部長)

展覧会の仕掛人である神谷浩さんに国芳と芳年作品の特徴や魅力を展覧会の構成に沿って解説していただきました。



### 講演会

「浮世絵末流の近代 芳年、年方から清方へ」

2021年5月30日(日)

場所：多目的スタジオ

講師

篠原聡さん(東海大学准教授)

月岡芳年の孫弟子にあたる篠木清方が模索した新しい浮世絵としての美人画や社会画という芸術の概念について興味深い講演をしていただきました。



# Information

## 第19回 風土記の丘の美術展

—郡山市内の小学生による作品展—

会期：2021年7月24日(土)～8月20日(金)  
主催：郡山市立美術館・郡山市小学校造形教育研究会  
場所：美術館ギャラリー(入場無料)

市内を4つの地域に分けて、週替わりで展示します。  
展覧会とあわせてお楽しみください。

### 第1期 7月24日(土)～7月30日(金)

日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、安積第一、  
安積第二、安積第三、永盛、柴宮、郡山ザペリオ学園

### 第2期 7月31日(土)～8月6日(金)

穂積、三和、多田野、河内、片平、喜久田、熱海、安子島、守山、  
御代田、高瀬、谷田川、金透

### 第3期 8月7日(土)～8月13日(金) ※8月9日(月)は開館、翌日休館

芳山、橘、小原田、開成、芳賀、桃見台、赤木、薫、富田、富田東、  
富田西、大槻、白岩

### 第4期 8月14日(土)～8月20日(金)

東芳、桜、桑野、大島、緑ヶ丘第一、小山田、大成、朝日が丘、  
宮城、海老根、御館、西田学園、湖南



第18回 風土記の丘の美術展 展示風景

## 企画展

郡山の美術とであう

## 関連イベント

スライドトーク【聴講無料・申込不要】

講師：当館学芸員

日時：9月11日(土)、10月9日(土)

各日午後2時から

場所：多目的スタジオ(定員50名)

※イベントの日程等は変更になる場合があります。詳しくは当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

## 新型コロナウイルス感染症対策について



- ・発熱、呼吸器症状(咳など)のある方は入館をご遠慮ください。
- ・団体でご来館の際は事前予約をお願いします。
- ・混雑する場合は入場制限をすることがあります。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 美術館 Instagram 開設しました！



HORIYAMA\_ARTMUSEUM



普段は見られない美術館の裏側や作品について発信しています。ぜひフォローしてください！

## TOPICS



営業時間／11:00-17:00  
電話／024-942-2250

## 昔懐かしい喫茶店の味・クリームソーダ

ひと口飲んだ瞬間に感じるシュワとした爽快感と  
パナアイスクリームの濃厚な甘さのデザートドリンクは  
老若男女問わず人気メニュー。

### ○クリームソーダメニュー

どこかノスタルジックさが感じられる定番の  
"メロンクリームソーダ" ¥580

ミックスベリーがごろごろ入った  
ストロベリーテイストの  
"木苺クリームソーダ" ¥640

皮ごと食べられるコンポート入り柑橘テイストの  
"オレンジクリームソーダ" ¥610



※メニューや料金、営業時間は予告なく変更となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

郡山市立美術館  
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2  
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350  
https://www.city.koriyama.lg.jp/bijutsukan/

発行日/令和3年7月27日

敷地内禁煙



紙へリサイクル可  
この紙はFSC®認証紙です。